

【資料3】

新唐津市民会館（仮称）利用計画

**令和5年8月22日（火）
地域交流部 観光文化施設課**

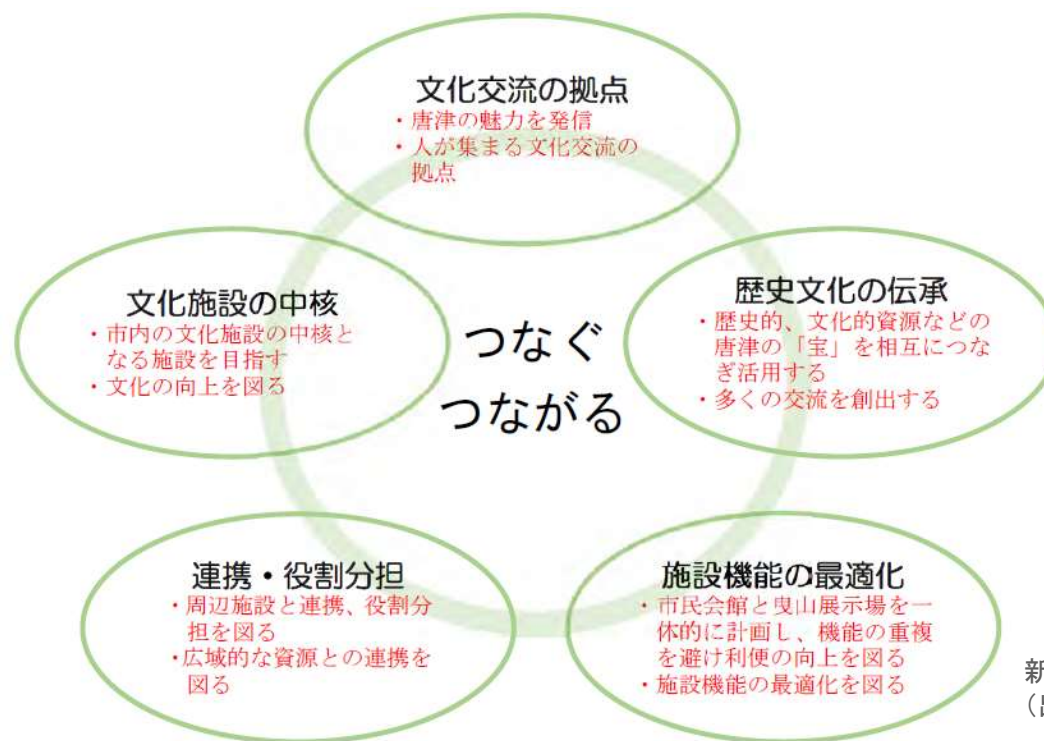
目 次

1. 利用計画作成の趣旨	…… 3	④体験・育成事業	……20
2. 利用計画の位置づけ	…… 4	⑤交流・連携事業	……21
3. 旧唐津市民会館の概要	…… 5	⑥発信事業	……22
4. 旧唐津市民会館の利用実績	…… 6	事業イメージ（共用・管理部門）	……23
5. 新唐津市民会館（仮称）に求める機能 （基本計画からの抜粋）	……11	事業イメージ（曳山展示場部門）	……24
6. 新唐津市民会館（仮称）の利用計画		7. 利用目標等	
（1）基本的な考え方	……15	（1）ホール目標稼働率	……27
（2）利用計画	……16	（2）目標入場者数等	……28
① 施設提供事業（貸館）	……17	（3）目標達成に向けた取り組み	……29
② 創造支援事業	……18	8. スケジュール	……33
③ 鑑賞事業	……19	9. 運営体制	……34

1. 利用計画作成の趣旨

本利用計画は、現地建替えによる再整備を予定している新唐津市民会館(仮称)について、具体的にどのような利用を想定しているのか、また、どのような利用ができるのかを、市民や利用者に分かりやすく示すために作成するものです。

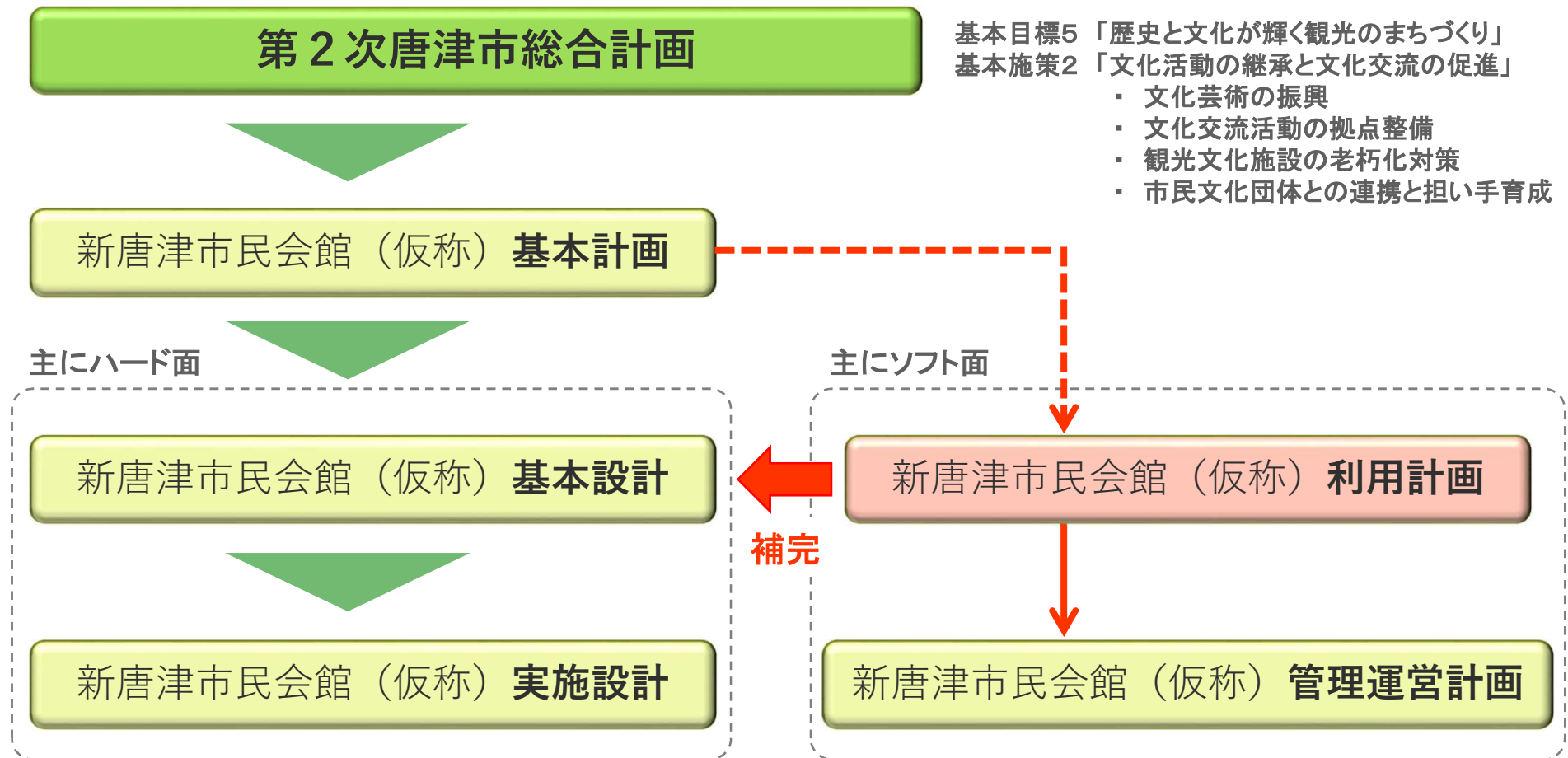
施設の配置や備えるべき機能など、主にハード面の整備について定める基本設計・実施設計に対し、本利用計画では、施設の利用に関する考え方や、具体的な利用方法など、主にソフト面について定めています。



新唐津市民会館(仮称)の基本理念
(出典:新唐津市民会館(仮称)基本計画)

2. 利用計画の位置づけ

本計画は、基本計画に基づき、基本設計・実施設計で示される施設計画の内容を、主にソフト面から補完する役割を担うとともに、今後、施設の管理運営計画を策定するに当たっての指針となる計画です。



3. 旧唐津市民会館の概要

◆旧唐津市民会館の概要

(1) 市民会館

- ・構造:鉄筋コンクリート造り
地下1階 地上4階
- ・休館日:12/29~1/3
- ・開館時間:午前9時~午後10時

(2) 曳山展示場

- ・休館日:12/29~12/31
- ・開館時間:午前9時~午後5時
- ・入場料:一般 310円、小・中学生 150円、
未就学児 無料



新唐津市民会館（仮称）利用計画

◆旧唐津市民会館の諸室の面積と定員

室区分	面積 (㎡)	定員 (人)
大ホール	2,112	1,204
大会議室	332	240
中会議室	95	70
第1会議室	62	35
第2会議室	62	35
第3会議室	43	20
曳山展示場	910	250



4. 旧唐津市民会館の利用実績

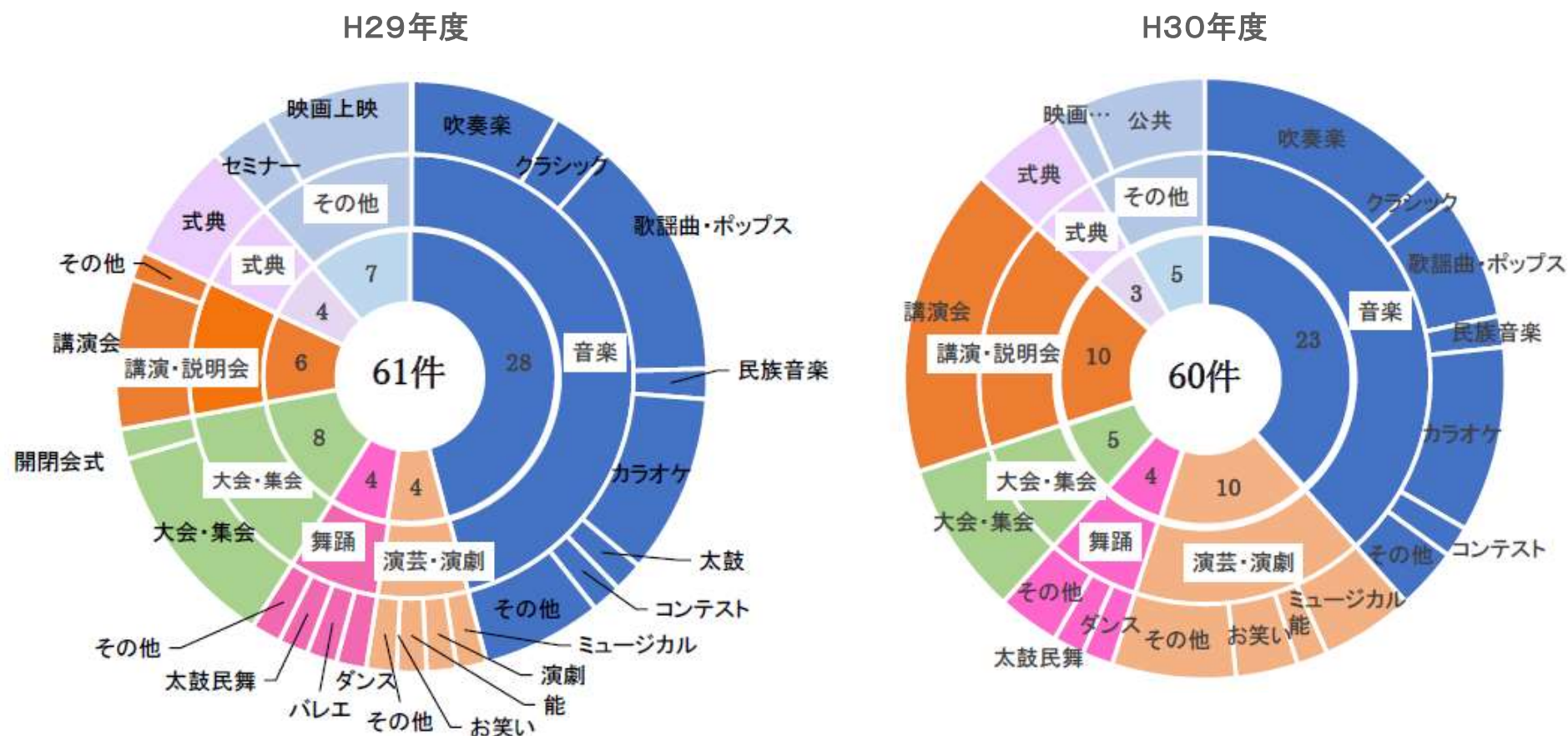
◆旧唐津市民会館の利用者数の推移

・直近3か年の平均で、大ホールの利用者は49,472人(4,123人/月)、会議室の利用者は33,779人(2,815人/月)、曳山展示場の利用者は70,818人(5,902人/月)。

H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大ホール	1,270	920	5,830	3,120	3,320	3,525	9,335	8,555	5,103	3,420	5,140	2,100	51,658
会議室	1,764	2,841	2,566	3,547	1,498	2,363	3,346	5,005	1,605	2,081	2,339	3,273	32,228
曳山展示場	5,866	8,374	5,281	5,470	5,674	6,132	9,687	8,167	3,181	5,088	4,214	6,309	73,443
合計	8,900	12,135	13,677	12,137	10,492	12,020	22,388	21,727	9,889	10,589	11,693	11,682	157,329
H30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大ホール	450	1,510	4,810	2,498	3,775	4,965	2,600	6,050	4,273	4,110	7,112	4,428	46,581
会議室	1,721	2,902	3,611	2,435	2,207	3,988	3,223	3,176	2,214	3,347	2,709	3,523	35,056
曳山展示場	5,030	6,829	5,441	4,000	5,935	5,633	9,899	11,976	3,976	4,872	5,531	5,679	74,801
合計	7,201	11,241	13,862	8,933	11,917	14,586	15,722	21,202	10,463	12,329	15,352	13,630	156,438
R元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大ホール	3,450	3,460	4,822	6,561	4,312	3,899	4,966	8,895	4,283	3,220	2,160	150	50,178
会議室	2,060	2,685	2,959	3,012	3,011	3,837	4,647	4,717	1,862	2,428	2,329	507	34,054
曳山展示場	4,851	6,965	5,416	5,112	4,688	5,070	8,878	8,712	3,120	5,189	3,964	2,245	64,210
合計	10,361	13,110	13,197	14,685	12,011	12,806	18,491	22,324	9,265	10,837	8,453	2,902	148,442

4. 旧唐津市民会館の利用実績

利用計画を作成するに当たり、旧唐津市民会館(大ホール)の直近3か年(新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う催事の中止による影響を考慮し、H29～R元年度までの3か年とする)の利用実績は、次のとおりです。 ※本番利用のみ

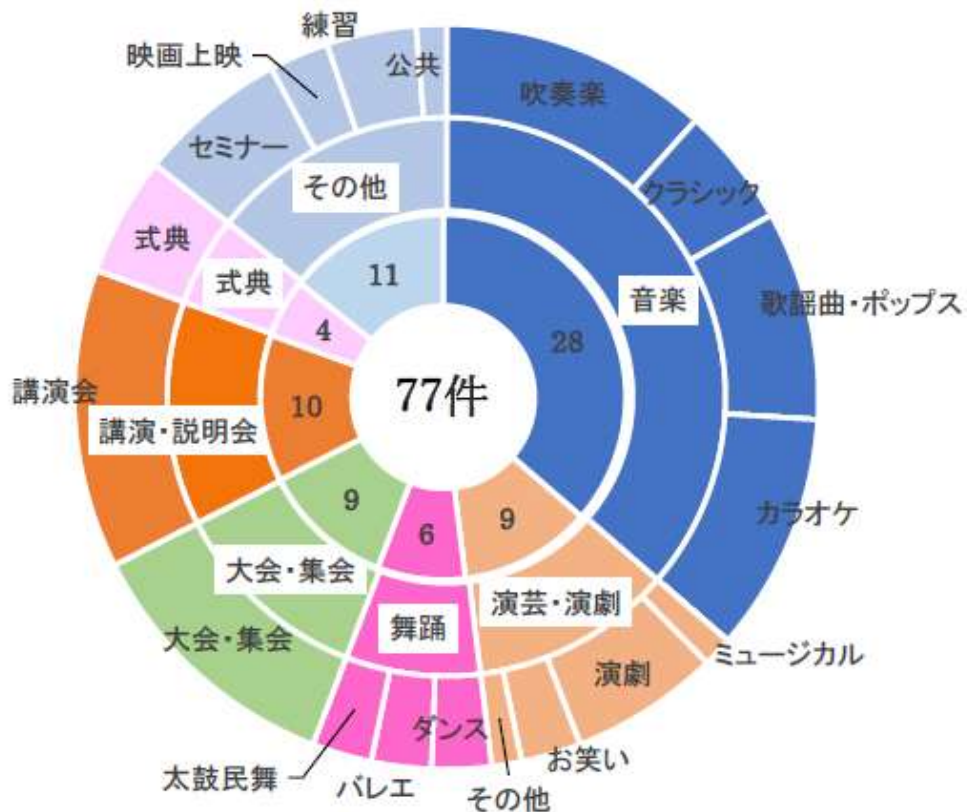


出典:新唐津市民会館(仮称)基本計画

4. 旧唐津市民会館の利用実績

直近3か年における利用実績では、「音楽」が最も多く、約4割の利用があり、次いで、「講演・説明会」、「演芸・演劇」となっています。

R元年度



直近3か年(H29年度～R元年度)の年間平均利用件数

利用ジャンル	利用件数 (3か年平均)	割合
音楽	26.3 件	39.8 %
演芸・演劇	7.7 件	11.7 %
舞踊	4.7 件	7.1 %
大会・集会	7.3 件	11.1 %
講演・説明会	8.7 件	13.2 %
式典	3.7 件	5.6 %
その他	7.7 件	11.7 %
合計	66 件	100 %

利用件数(3か年平均)は、利用ジャンルごとに算出(小数点第2位を四捨五入)

4. 旧唐津市民会館の利用実績

旧唐津市民会館(大ホール)における直近3か年の利用ジャンル別の主な演目は、次のとおりです。

利用ジャンル		主な演目	利用ジャンル		主な演目
音楽	吹奏楽	唐津地区吹奏楽祭 (約500～700名) 唐津工業吹奏楽部定期演奏会 (約100名)	演芸・ 演劇	ミュージカル	劇団飛行船公演 (約700～800名)
	クラシック	日本フィル九州公演唐津演奏会 (約800名)		演劇	劇団四季クリスマス チャリティ公演(約750名) 梅沢富美男劇団特別公演 (約800名×2回)
	歌謡曲・ ポップス	唐津ジュニア音楽祭(約600名) 音育エイド(約200名)		能	唐津・能と狂言 (約1,000名)
	演歌	前川ファミリー(約1,200名) 三山ひろし(約900名×2回) 島津亜矢(約700名×2回)		お笑い	ものまねヒットパレード (約1,000名) 綾小路きみまろスーパー ライブ(約1,200名)
	カラオケ	歌謡教室カラオケ発表会 (約350～1,000名)		その他	市内幼稚園チャリティー コンサート(約1,000名) 唐津西高校芸術鑑賞会 (約600名)
	合唱	唐津市児童生徒音楽会 (約3,000名)			
	その他	陸自西部方面音楽隊巡回演奏会 (約1,000名) 早稲田佐賀文化祭(約1,000名)			

4. 旧唐津市民会館の利用実績

利用ジャンル		主な演目	利用ジャンル		主な演目							
舞踊	ダンス	NNPダンス発表会 (約800名)	大会・集会	大会・集会	老人クラブ連合会年次大会 (約1,000名) 政治家決起大会 (約500名～1,000名) JF女性部大会 (約800名) JA女性部大会 (約850名)							
	バレエ	ballet and beyond 発表会 (約900名) 市民文化祭「秋のバレエコンサート」 (約300名)										
	太鼓民舞	太鼓・民舞フェスタ (約700名) 唐津港太鼓 ジュニアコンクール (練習)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用ジャンル</th> <th>主な演目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">講演・説明会</td> <td>講演会</td> <td>大隈記念講演会 (約1,000名) 同和問題講演会 (約600名)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>唐津南高校課題研究発表会 (約450名)</td> </tr> </tbody> </table>		利用ジャンル		主な演目	講演・説明会	講演会	大隈記念講演会 (約1,000名) 同和問題講演会 (約600名)	その他	唐津南高校課題研究発表会 (約450名)
	利用ジャンル		主な演目									
	講演・説明会	講演会	大隈記念講演会 (約1,000名) 同和問題講演会 (約600名)									
その他		唐津南高校課題研究発表会 (約450名)										
日本舞踊	藤菊会、花祐会	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用ジャンル</th> <th>主な演目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>セミナー</td> <td>企業主催セミナー (約350～1,000名)</td> </tr> <tr> <td>映画上映</td> <td>(自主) 映画ドラえもん (約700名×2回)</td> </tr> </tbody> </table>		利用ジャンル		主な演目	その他	セミナー	企業主催セミナー (約350～1,000名)	映画上映	(自主) 映画ドラえもん (約700名×2回)	
利用ジャンル		主な演目										
その他	セミナー	企業主催セミナー (約350～1,000名)										
	映画上映	(自主) 映画ドラえもん (約700名×2回)										
その他	松浦文連文化祭チャリティショー (約700名)											
利用ジャンル		主な演目	利用ジャンル		主な演目							
式典	式典	戦没者追悼式 (約400名) 消防出初式 (約1,200名) 成人式 (約700～800名)	その他									

5. 新唐津市民会館(仮称)に求める機能 (基本計画P24からの抜粋)

市民会館部門 (大ホール)

- (方針) ・唐津市の文化芸術の中核施設
 - ・市民が使いやすいホール
 - ・演劇、講演会、コンサートなど、様々な演目に対応する多目的ホール
- (規模) ・800人収容をベース(固定・可動席)、舞台は多目的に利用できるサイズとする。
 - ・舞台は以下の2形式に対応する。
 - 幕形式:
 - 演劇・バレエ・講演会などに十分に対応できる主舞台の幅・奥行・高さ、袖舞台を確保する。
 - 反射板形式:
 - クラシックコンサートのオーケストラ公演に対応できる十分なサイズ、音響に配慮した高さとする。
- (留意事項) ・搬入口は、11トントラック1台が問題なく停車でき、舞台への搬入がスムーズに行えるよう計画する。(床レベルの検討を行う。)
 - ・ホール用楽屋は、大・小の楽屋を各2室設ける。
 - 練習室・リハーサル室の楽屋利用も前提とし、オーケストラ演奏者人数に対応できる計画とする。
 - ・楽屋は、ホール利用のない場合には、会議・練習などに利用できる配置、つくりとする。
 - ・客席トイレは十分な数を設け、男女比を1:2以上とする。
 - ・ピアノ庫は24時間空調を前提とする。
 - ・客席の幅、前後間隔は近年のホールの標準以上とする。

5. 新唐津市民会館（仮称）に求める機能 （基本計画P24からの抜粋）

市民会館部門（リハーサル室、練習室）

（方針）【リハーサル室】

- ・ホール公演のリハーサルだけでなく、小ホールとして小規模発表会、日常的な練習・会議などに利用することができるリハーサル室を設ける。
また、ホール主催者・出演者の控室利用も想定する。

【練習室】

- ・音楽・演劇・ダンスなどの練習利用、会議などに利用できる練習室を設ける。
- ・ホールの楽屋としても利用することを前提とする。

- #### （規模）
- ・リハーサル室はホールの舞台音響反射板内のサイズと同等以上とする。
 - ・練習室は、会議利用時に60人程度での利用が可能なサイズとする。

- #### （留意事項）
- ・各室は遮音性能を確保し、大ホール、展示場、その他諸室への影響のないつくりとする。
 - ・表の利用者動線と舞台からの裏動線の両方の動線を確保する。

5. 新唐津市民会館(仮称)に求める機能 (基本計画P15,27,30からの抜粋)

共用部門 (共用ロビー他)

- (方針)
- ・各機能諸室へ容易にアクセスのできる共用ロビーを設ける。
 - ・共用ロビーは外の広場とも連携した交流空間とする。
 - ・売店、観光情報コーナー、フリーで利用できるスペースを設ける。
 - ・共用トイレを設ける。(曳山展示場のトイレとしても利用を想定)
 - ・市民会館のもぎり前待機スペースとしての利用も想定する。
 - ・市民会館・曳山展示場両方の管理を行う管理事務室は、共用部から容易にアクセスできる位置とする。

(共用部ロビーへの展示)

- ・市民会館と曳山展示場の両方のロビーとなる共用ロビーを設け、観光・文化の情報コーナー・市民(市民団体)の展示スペース・売店などを配置する。
- ・唐津の地理的環境、歴史的環境を位置図などで紹介する。
- ・唐津の伝統芸能や祭りを分布図などで紹介する。
- ・唐津の史跡や自然などの観光拠点を紹介する。

- (留意事項)
- ・ギャラリー利用ができる壁面の確保を図る。
 - ・駐車場側(西側)からのアクセスにも配慮する。
 - ・喫茶については、意欲的かつ自主的な民間事業者の参入の余地を持たせることができるか調査する。

5. 新唐津市民会館(仮称)に求める機能 (基本計画P25からの抜粋)

曳山展示場部門

- (方針) ・曳山14台をすべて常設展示する。
 - ・唐津くんち／曳山の歴史や文化、収蔵品の展示／解説、唐津のくんち以外の祭りの紹介なども行う。(※詳細展示内容は引き続き検討)
 - ・映像、体験などでくんちを実感できる展示を工夫する。
- (構造など) ・曳山展示保管ブースは、1台ずつ単独で、直接外部へ出し入れができる配置とする。
 - ・外部への扉は、前室を設けた二重構造とする。
 - ・温度や湿度は安定した状態を確保できるようにし、ライフサイクルコスト(LCC)にも配慮した計画とする。
- (留意事項) ・曳山14台は可能な限り一目で見渡すことができる配置を検討する。
 - ・曳山の見学エリアは、曳山を真上に近い位置から見下ろさない配置を検討する。
 - ・曳山展示保管ブースの外部扉は、曳き納めに配慮した配置を検討する。

6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (1) 基本的な考え方

新唐津市民会館(仮称)基本計画では、多種多様な幅広い入館者のニーズに対応するため、新たな施設が目指すべき方向性を、次のとおり整理しています。

【基本コンセプト】(基本計画P7からの抜粋)

次世代へ向けた文化芸術の創造発信地(文化創造都市 唐津)

文化芸術により市民に安らぎや活力を与える場として、**優れた文化芸術**に触れることによって、市民による自主的な文化芸術活動を促進し、**市民の創造性や表現力**を生み出すことを目指します。

文化芸術活動が盛んになると同時に文化交流、地域間交流、世代間交流など**様々な交流**が生まれ、**福祉の増進、まちの賑わい**や活性化につなげていくことを目指します。

唐津に誇りを持ち続けられるように、**将来を担う人材や団体の育成**に力を注ぎます。また、そこから生み出される文化芸術が持つ力と唐津の伝統文化とが連動して、広く唐津の魅力を発信することができる**文化交流の拠点**を目指します。

貸館事業

①施設提供事業

②創造支援事業

③鑑賞事業

④体験育成事業

⑤交流事業

⑥発信事業

自主事業

6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)利用計画

基本コンセプトの実現に向け、貸館事業(①施設提供)と、5つの自主事業(②創造支援、③鑑賞、④体験・育成、⑤交流・連携、⑥発信)に積極的に取り組めます。

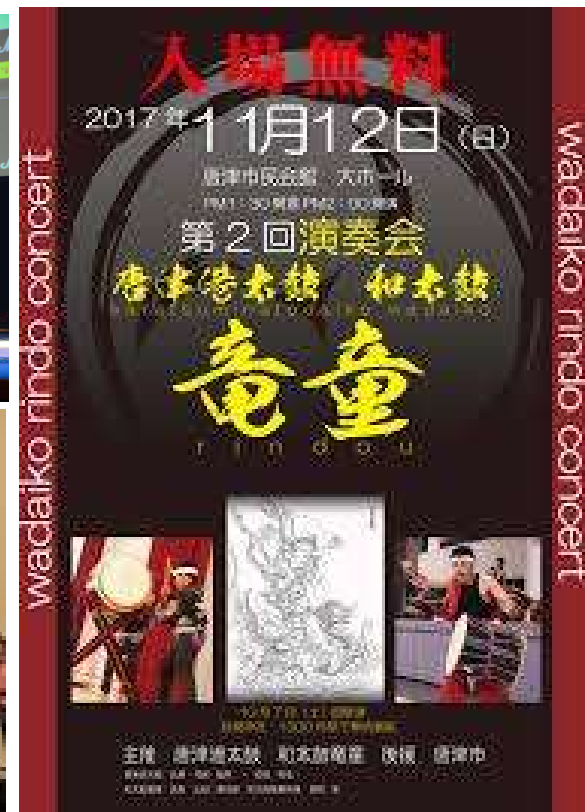
事業区分	事業の考え方	実施が期待される項目(例)
① 施設提供	市民の既存の文化芸術活動に対し、活動の場を提供する事業	<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化芸術活動への場の提供 文化芸術活動の利用に限定しない施設の利用促進
② 創造支援	市民の既存の文化芸術活動を、さらに発展させるための支援を行う事業	<ul style="list-style-type: none"> 新唐津市民会館(仮称)を舞台に、新しい文化芸術活動を行う場合の相談対応 施設利用に関する相談窓口の設置 文化芸術団体・人材情報の集約・ネットワーク化
③ 鑑賞	市民の文化芸術への関心を高める事業	<ul style="list-style-type: none"> 優れた文化芸術の鑑賞機会の提供 市民(市民団体)や興行団体、新聞社、放送局などとの連携による鑑賞機会の提供
④ 体験・育成	市民が、新たに文化芸術活動を始め、きっかけを作る事業	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動のすそ野を広げる取り組み 施設に親しんでもらうための取り組み
⑤ 交流・連携	市民と文化芸術活動団体、また、団体間の交流を促進する事業	<ul style="list-style-type: none"> 市民や観光客が集まりやすいイベント等の実施 唐津文化芸術祭(仮称)の実施 新しい文化交流の創出
⑥ 発信	本市における文化芸術の取り組みや、本市の魅力を発信する事業	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動の実施 市民が気軽に参加・参画できる予約システムの構築

6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)－① 施設提供事業

文化芸術活動の活性化

- ・ 市民や文化団体等の幅広い文化芸術活動、および文化芸術活動の活性化に寄与する市外団体の取り組みに対して、場や備品を貸し出します。
- ・ 市民の文化芸術活動の活性化を目的とした場の提供を優先的に行うものの、予約が入っていない場合などは、施設の使用料収入確保のため、文化芸術活動の利用に限定せず(例えば、事業者の会議や会合、営利目的の利用等も含めて)施設の利用促進を図ります。

取り組みのイメージ

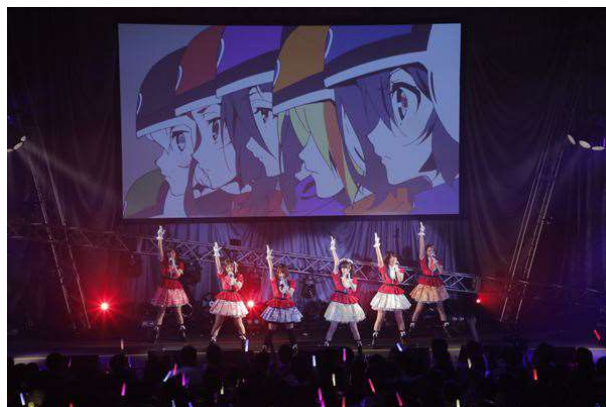


6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2) - ② 創造支援事業

新しい文化芸術の創造

- 新唐津市民会館(仮称)を舞台に、新しい文化芸術活動を行う場合や、ホール、リハーサル室等を使った市民の発表活動について、広報、制作、舞台技術、専門家紹介などのアドバイスが提供できる相談窓口を設置します。
- 地域の資源や人材を発掘し、人材交流やコーディネートを行います。

取り組みのイメージ



唐津市民劇公演

唐津市民150名で贈る虹ノ松原一揆

一滴の血を見る事もなく
百姓一揆を成功させた
富田才治の物語

まつらのふうじん

末盧の
風神

演出・音楽
富田カツオ

この事業は平成18年度 発掘型地域活性化事業の補助を受けられています。

10月21日(土)唐津市民会館

◎12:30開演 13:00開演
◎17:30開演 18:00開演

最良券 大人 2,000円 中高生 1,500円
片券券 (2,500円) (2,000円)

■チケットの申込みは、唐津市民会館・アルビノ・近海津観光協会
■上社 唐津市民観光行楽協会 唐津市 唐津市民会館 近海津観光協会
■問い合わせ 093-5201-4024

KARATSU
Real Live
POWER
FESTIVAL

唐津の音楽、アーティストパワー弾ける2日間

Special Guest

佐藤和雄 山崎賢一 ロックシシロ 本多野郎 (W-5) VPRO 有線電 8artian 100%ロック

Day1 TIME TABLE Day2

会場 / 唐津市ふるさと会館アルビノ
観覧料 / 入場無料 [中央半野外スペース] ※雨天決行
時間 / 4日 10:00開場 11:00-20:00
5日 9:00開場 10:00-20:00
キッチンカー等 出店有

12.4 SAT - 5 SUN

6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)－③ 鑑賞事業

文化芸術への関心度向上

- ・ 音楽、演劇、舞踊など、あらゆるジャンルの優れた公演の鑑賞機会を提供します。
- ・ 唐津にゆかりのあるアーティストや文化人による演奏会や講演会等を実施します。
- ・ より多彩な作品の鑑賞機会を提供できるよう、市民団体や興行事業者とも連携し、共催公演、提携公演などを実施します。

取り組みのイメージ



6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)－④ 体験・育成事業

新たに文化芸術活動を始めるきっかけづくり

- 文化芸術活動のすそ野を広げる取り組みとして、ホール公演の前後で、教育機関や福祉施設などへのアウトリーチ活動を展開します。
- 市民に施設に親しんでもらうための取り組みとして、公開リハーサルや、バックステージツアー、各種ワークショップなどを実施します。
- 市内の中高生がクラシック公演、展覧会、演劇などの企画や運営に携わることにより、文化を通してマネジメントのノウハウを学ぶアートマネジメント教育を導入します。

取り組みのイメージ

能ワークショップ(プロの能楽師による出張WS)



公開リハーサル



バックステージツアー



アートマネジメント教育(中高生による企画運営)



6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)－⑤ 交流・連携事業

文化交流の促進

- 文化芸術に興味や関心がない市民や観光客も行ってみたいと思うイベント等を開催します。(フリーマーケット、特産品市場、展示会等)
- 市内の観光文化施設や中心市街地などが連携した唐津文化芸術祭(仮称)を開催します。(唐津市民文化祭をリニューアルして、市をあげた文化芸術の祭典)
- 文化芸術を幅広く捉え、MICE、音楽コンクール、e-スポーツ大会等、これまで利用されたことのない演目の誘致により、新しい文化交流を創出します。

取り組みのイメージ



学会(分科会)やシンポジウムの誘致



e-スポーツ大会

6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)－⑥ 発信事業

唐津の魅力発信 施設の利用促進

- ・ 唐津が築き上げてきた歴史や文化芸術を発信し、継承する拠点とします。
- ・ 公演や展示のリモート・ライブ配信を実施します。
- ・ 老若男女問わず、多くの市民が気軽に参加・参画できるよう、SNSやHPを活用した情報発信と、施設予約システムを構築します。

取り組みのイメージ



6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 事業イメージ(共用部門)

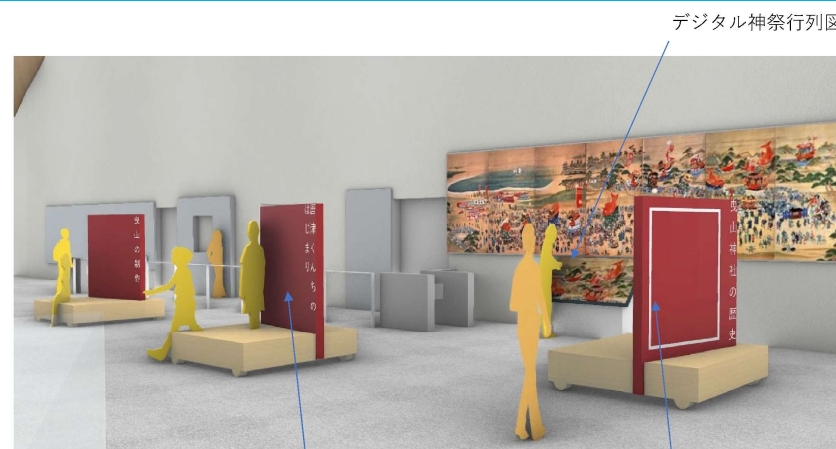
唐津のまち・祭り・観光 の情報発信

- ・共用部(無料エリア)において、唐津の地理的環境や、歴史的環境、唐津市内の伝統芸能や祭りの紹介、唐津観光の魅力を情報発信します。
- ・また、同じく共用部において、「唐津くんち」の過去・現在・未来をイメージした常設展示を行います。

取り組みのイメージ

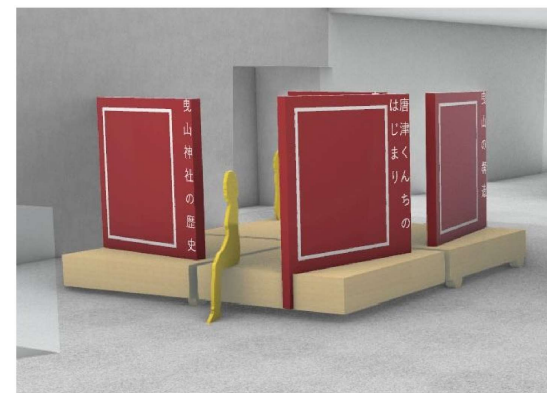
【唐津市内の伝統芸能や祭りの紹介】

- ・唐津・・・鬼じゃ鬼じゃ行事(市指定)
- ・浜玉・・・浜崎祇園祭(市指定)
- ・巖木・・・広瀬浮立(県指定)
- ・相知・・・相知くんち・羽熊(市指定)
- ・北波多・・・徳須恵祇園山笠
- ・肥前・・・納所山笠・ガメ踊り
- ・鎮西・・・海中盆綱引き
- ・呼子・・・呼子大綱引き(国指定)
- ・七山・・・大白木「亥の子」さま(市指定)



唐津くんちのはじまり

唐津神社の歴史



【イベント開催時】2階ロビーをイベント等でオープンスペースとして活用するとき、企画展示コーナーに固めて設置する。

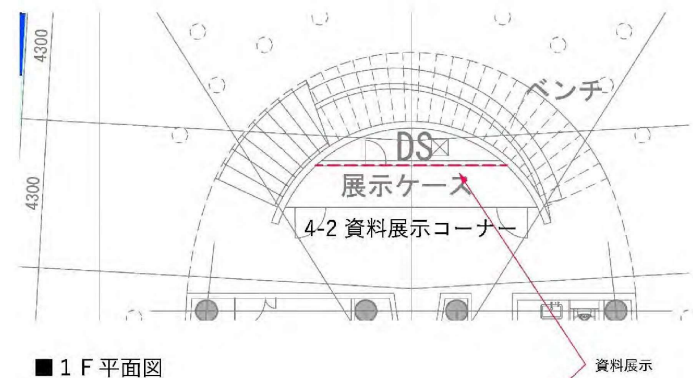
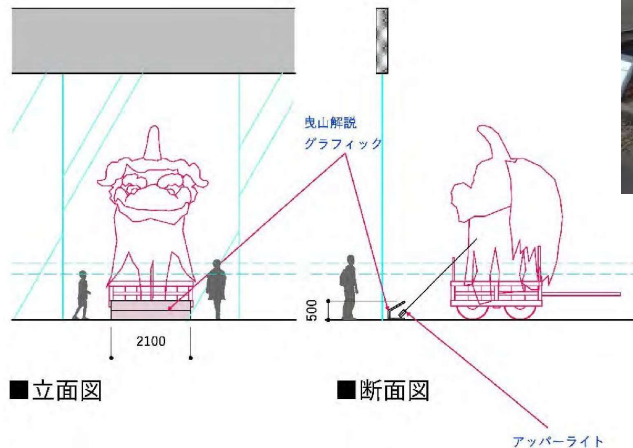
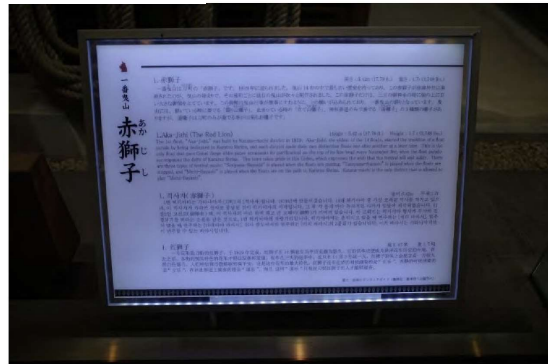
6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 事業イメージ(曳山展示場部門)

曳山展示 資料展示

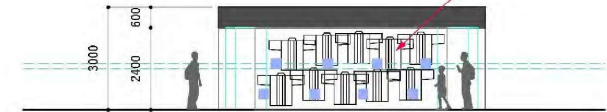
- ・曳山鑑賞の妨げにならない高さで、かつ、曳山に対するアッパーライトの設置を兼ねる解説グラフィックを用いて、外観の特徴、制作年、制作者、制作時背景などを紹介します。
- ・曳山展示場内に、唐津くんちに関する資料展示コーナーを設置します。

取り組みのイメージ

【旧曳山展示場】 日本語、英語、ハングル、簡体字。



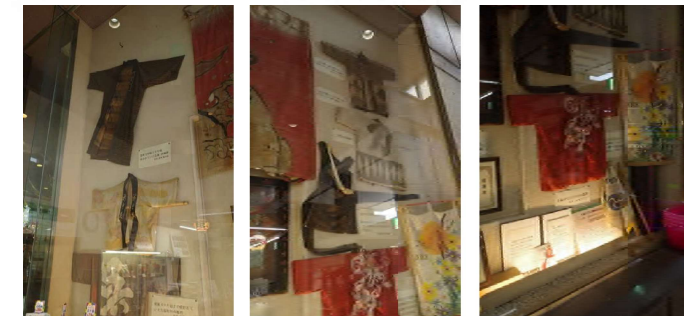
■ 1F 平面図



■ 立面図

4-2 資料展示コーナー

4 曳山展示ゾーン



6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 事業イメージ(曳山展示場部門)

くんちシアター

- ・唐津くんち当日の盛況ぶりを、来場者を取り囲むような没入感のある映像で紹介します。
- ・映像だけでなく、音響システムや映像に合わせた振動、複数のスピーカーで立体音響空間の創出を検討します。

取り組みのイメージ

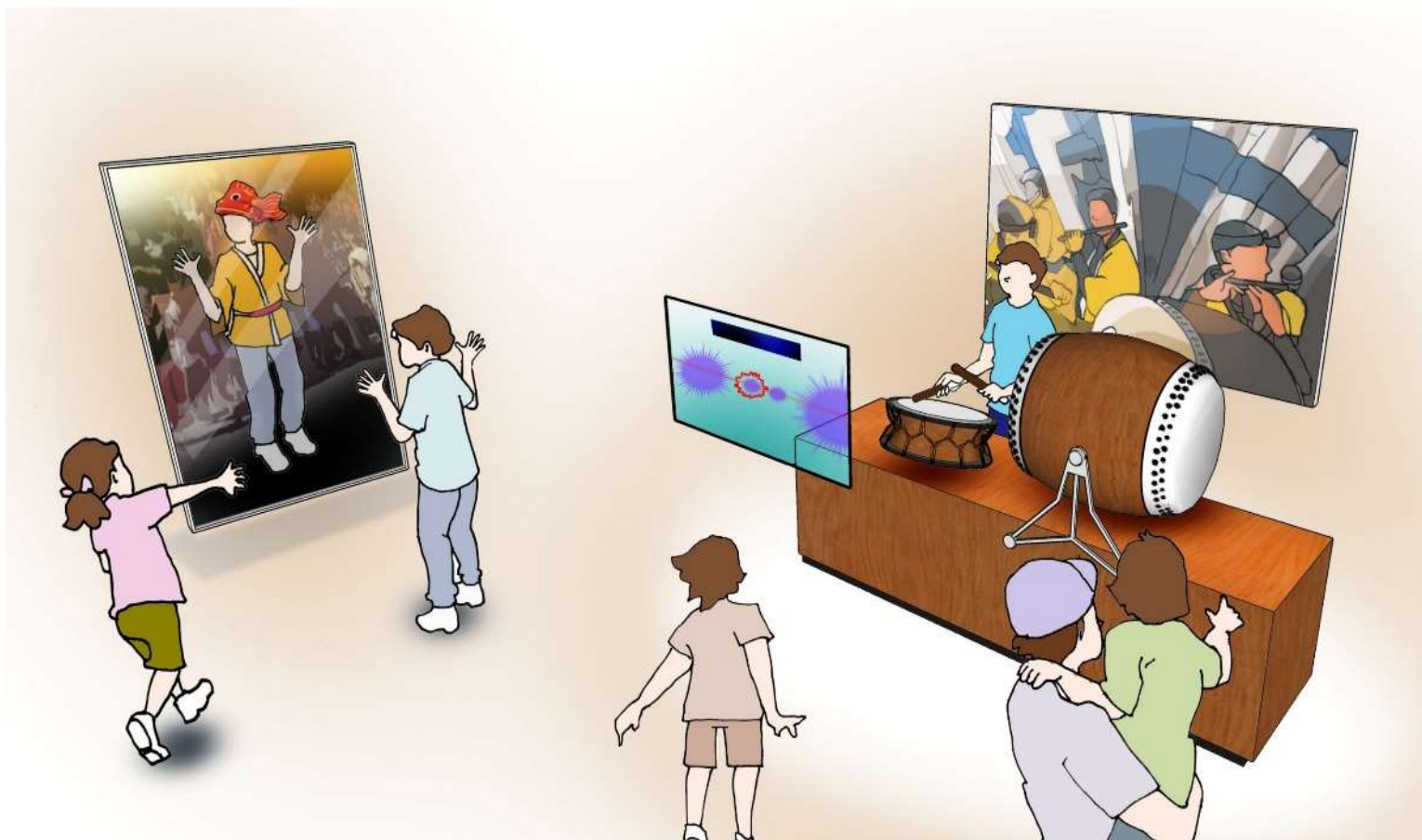


6. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 事業イメージ(曳山展示場部門)

くんち体験コーナー

- ・タッチパネルモニターでは、3Dモデルデータを使って、曳山を360度自由に回転させてみる事ができる曳山タッチなどが体験できます。
- ・また、モニターの映像と自分自身を合成して写真撮影をしたり、鐘や笛の演奏に合わせて太鼓をたたくような体験メニューを検討します。

取り組みのイメージ



7. 利用目標等 (1)ホール目標稼働率

新唐津市民会館(仮称)ホール目標稼働率 55%

全国(国公立)の類似施設1,842施設のうち、最大ホールの席数が500席~1,000席未満である700施設の年間平均ホール稼働率が55.0%^{※1}であることから、新唐津市民会館(仮称)の大ホールの目標稼働率を55%とします。

※1 公益財団法人全国公立文化施設協会「令和元年度 劇場、音楽堂ホールの稼働状況に関する調査研究報告書」
(目標稼働率については、コロナ禍前の数値を元に設定しています。)

【参考】



- 佐賀市文化会館 開館日:1989年10月1日(築33年)
 - ・中ホール(収容人数: 814席)
 - 演劇を主とした多目的ホール
 - 年間利用率 68.94%(R3年度)



- 柳川市民文化会館 開館日:2020年12月20日(築2年)
 - ・大ホール(収容人数: 803席)
 - 音楽を主とした多目的ホール
 - 年間利用率 68.51%(R3年度) ※キャンセル前利用率
 - 41.23%(R3年度) ※キャンセル後利用率

7. 利用目標等 (2) 目標入場者数等

新曳山展示場目標入場者数 92,000人

◆旧曳山展示場の入場者数の推移

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
入場者数 (人)	73,425	76,929	73,443	74,801	64,210	35,371	24,335	35,353

※H28.12.1 唐津くんちの曳山行事を含む「山・鉦・屋台行事」が、ユネスコ無形文化遺産登録決定

※R2.2月～ 新型コロナ感染拡大に伴う入場者の減少

※R3.3.31 旧唐津市民会館閉館 (R3.4.1～曳山展示場のみ引き続き開館)

※R3.10.1～ ふるさと会館アルピノ内での曳山展示場開館

➡ 旧曳山展示場の入場者数(H29～R元年度平均) 70,818人

【全国の先進事例 (目標とする施設)】

- ・川越まつり会館 (川越市) …H15年設置
川越氷川祭の山車展示のほか、大型スクリーンや、舞手の視点から見たまつり体験が充実

→ 川越まつり会館の入場者数
92,793人 (H29～R元年度平均)



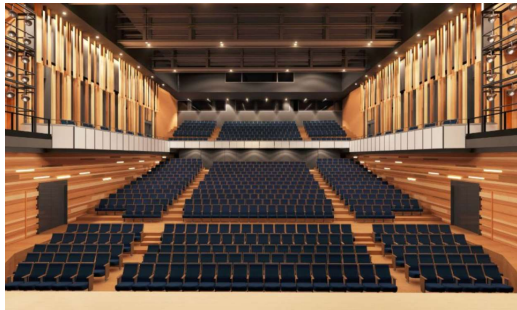
➡ 新曳山展示場には、旧展示場になかった体感シアターや、くんち体験コーナーなど川越まつり会館にあるような体験メニューも多く、市民の来場も期待できるため、川越まつり会館と同規模の92,000人(約1.3倍)を、目標入場者数に設定したい。

7. 利用目標等 (3) 目標達成に向けた取り組み

九州管内の類似ホールとの連携

- 九州管内の類似ホールが、事業(公演等)の企画・誘致等の情報交換や、連携強化を図ることを目的とした「九州類似ホール情報交換会」に加入します。
- 複数の施設(ホール)が連携することで、(一財)地域創造の助成金の獲得を目指します。

取り組みのイメージ



柳川市民文化会館

新唐津市民会館(仮称)



霧島国際音楽ホール



さいき城山桜ホール



7. 利用目標等 (3) 目標達成に向けた取り組み

オフィシャルパートナーの募集

- 地元企業や団体等が、文化芸術事業への協賛を通じて、地域の文化の振興をサポートする制度を構築します。
- オフィシャルパートナーには、協賛金の額の区分に応じた各種特典を検討します。

取り組みのイメージ



佐賀市文化会館(13社)



月刊誌(催物案内誌)

(佐賀市文化会館の例)

- 協賛金の額を10万円、25万円、50万円の区分に設定している。
- 協賛企業等に対して、チラシ、ポスター等への広告スペースを提供している。
- 会館が発行する月刊誌への企業チラシ等のポスティングが可能。
- また、公演の会場や内容を確認いただく趣旨で、招待チケットを配布。
(協賛金の額により枚数を調整)

7. 利用目標等 (3) 目標達成に向けた取り組み

会員制（友の会など）の導入

- ・ 市民に、より多く新唐津市民会館（仮称）に足を運んでもらい、各種公演を鑑賞していただくことにより、文化芸術の土壌を広げる仕組みを導入します。
- ・ 有料会員の会費は、主に体験・育成事業（P16）に充当します。

取り組みのイメージ

① WEB会員（無料）

登録（無料）することにより、イベント情報やチケット販売情報などがLINEやメールで届き、優先予約などのインセンティブがある。

② プレミアム会員（有料）

登録（有料）することにより、チケットの割引や会員限定の公開リハーサルへの招待など、各種インセンティブがあるほか、自主事業の企画会議への参画など、鑑賞したい公演等の誘致に携わることができる。なお、会費は主に活動・育成事業に充てる。

③ 小学生会員（無料）

市内の小学生が気軽に会館へ足を運び、文化芸術に関心を持ってもらうことを目的とするもの。公演やワークショップ等の参加者にポイントを付与することにより、チケットの割引等の特典を用意。



高砂市文化会館
2020年 友の会会員募集

～夢ある空間へようこそ～
心に残るひとときをお過ごしください

☆会員特典☆
①チケット先行販売 ④インフォメーションサービス
②チケット割引 ⑤抽選で主催公演ご招待
③講座受講料の割引 ⑥友の会特約店割引優待
会員だけのうれしい特典やお得なサービスがいっぱい!
(特約店は裏面記載)
年会費:1,500円/人 (10月1日以降のご入会は1,000円)
会員期間:入会の日から2021年3月31日まで

お問合せ・お申込み
高砂市文化会館
〒676-0021
高砂市高砂町朝日町 1-2-1
TEL (079) 442-4831

払込取扱票		振替払込請求書受領証	
00 大阪	口座振替専用	009205	163339
国際ライフパートナー株式会社		国際ライフパートナー株式会社	
高砂市文化会館 友の会入会		高砂市文化会館 友の会入会	
個人会員 (年会費1,500円) いずれか○を記入してください 新規・継続 (前年度会員番号 NO.)		個人会員 (年会費1,500円) いずれか○を記入してください 新規・継続 (前年度会員番号 NO.)	
区	分	区	分
名	姓	名	姓
式	別	式	別
名	姓	名	姓
日	期	日	期
年	月	年	月
(ご連絡電話番号)		(ご連絡電話番号)	
〒		〒	
番		番	
号		号	
印		印	

7. 利用目標等 (3) 目標達成に向けた取り組み

複合施設としての相乗効果の創出

- ・ ホールでのイベントに参加された市民が、共用部で行う市内の祭り展示をみたり、新しくなった曳山展示場の体験メニューを楽しんで頂けるよう案内・誘導を行います。
- ・ 曳山展示場を目指してこられた観光客が、共用部で行う市内の祭り展示をみて、改めて、祭りの時期に唐津を来訪して頂けるよう案内・誘導を行います。

新施設の基本方針

(基本計画P14
からの抜粋)

市民会館

住民福祉の向上

- ・ 文化芸術で市民に安らぎや活力を与える場をつくる
- ・ 市民生活を豊かにするための文化芸術のほか多様な活動の場をつくる

育成・交流

- ・ 文化芸術を担う人材と団体の育成の場をつくる
- ・ 文化芸術による交流（文化、地域、世代）の場をつくる

創造・表現

- ・ 文化芸術で市民の創造性や表現力を生み出す場をつくる

発信・継承

- ・ 唐津が築き上げてきた歴史や文化芸術を発信し、継承する場をつくる

共用・管理

交流の場

- ・ 市民や来訪者が集う交流の場の創出
- ・ 観光情報発信など周辺施設との連携を図る

観光交流の創出

- ・ 唐津くんちの曳山をはじめ、地域の伝統的な祭りなどの資源の活用により、観光交流の創出を図る

歴史文化環境への配慮

- ・ 唐津地域の歴史や唐津くんちへ配慮する
- ・ 周辺環境に配慮する

連携役割分担

- ・ 広場空間と建物空間、周辺施設との連携役割分担を図る

曳山展示場

文化財の保存

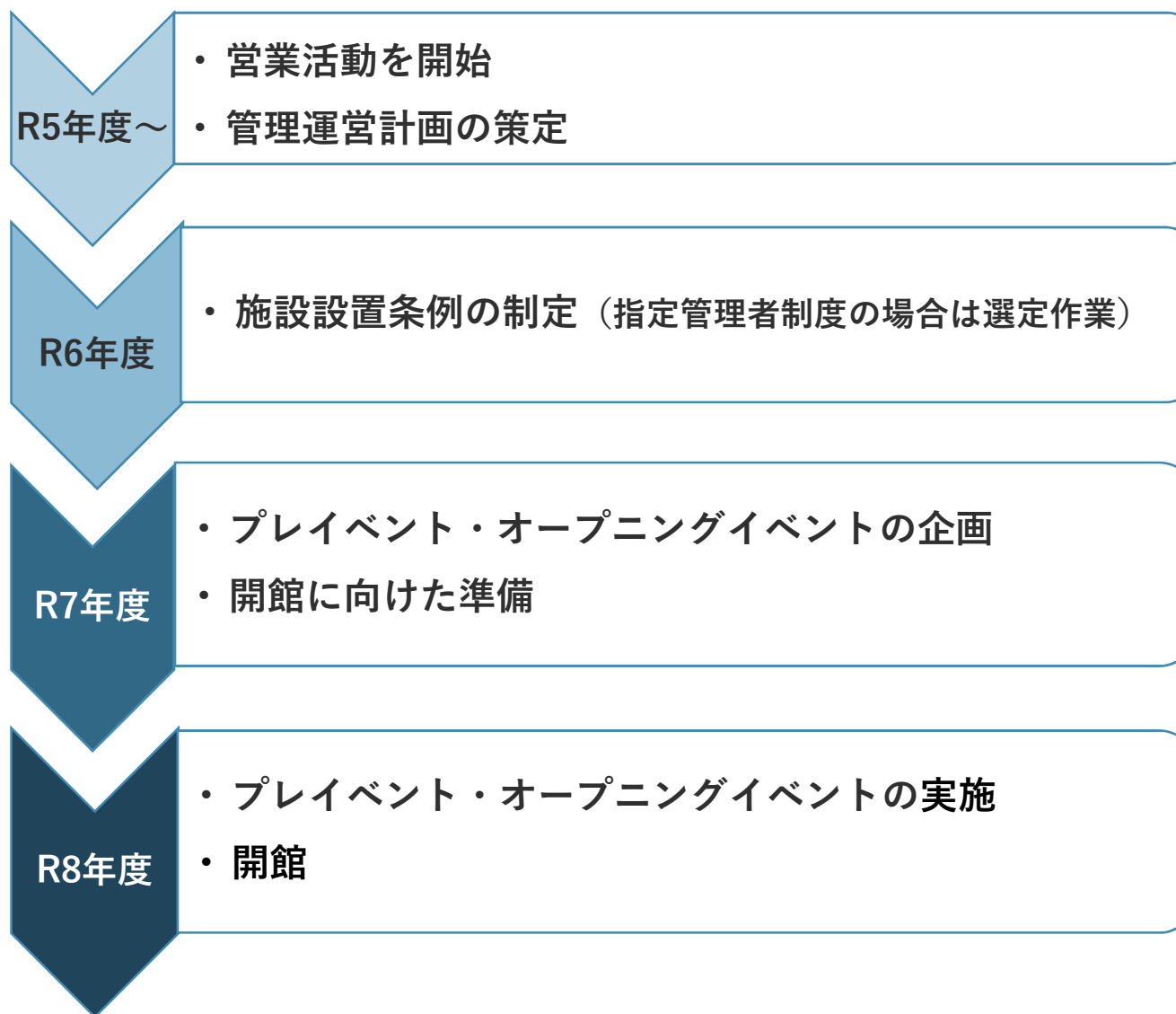
- ・ 「唐津曳山」の保存に十分配慮しながら、「唐津くんちの曳山行事」の際の曳き出し、曳き込みや日々の展示、メンテナンス作業などに留意した保存環境の整備を図る

魅力的空間の創造

- ・ 体験展示も盛り込んだ展示方法の工夫により、魅力的空間の創出を図る

環境

8. スケジュール



9. 運営体制

◆運営体制のイメージ

